

つるおか

令和8年

3月定例会号
R8.5.1発行

Vol.88

市議会だより



藤島少年少女合唱団
スプリングコンサート

3月28日/東田川文化記念館

3月定例会の概要	P 2
議案一覧	P 3
総括質問	P 5
定例会のポイント	P 7
委員会審査	P 8
一般質問	P 10
シルク議会開催	P 16

3月定例会の概要

令和8年度予算、7年度補正予算など104件を審議

3月定例会は、3月3日に開会し、市当局が99件の議案を提出しました。請願3件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書2件を含め審議し、23日間の会期を経て、3月25日に閉会しました。
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3〜4頁)

市当局が8年度予算を含む議案99件を提出

開会初日は、市当局が予算議案14件、条例議案71件、事件議案13件、人事案件1件、計99件の議案を提出し、各会派を代表して6人の議員が総括質問を行いました。
(質問内容は5〜7頁)

3月定例会日程

- 3日 本会議(総括質問)
- 4日 予算特別委員会
- 5・6・9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議、予算特別委員会
- 11~13・16日 常任委員会
- 24日 本会議、予算特別委員会
- 25日 本会議

上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

次に、議第98号及び議第99号を審議し、表決の結果、全員賛成で可決及び同意しました。
(人事案件の内容は下段)

予算特別委員会を開催 7年度補正予算議案を審査

開会2日目に、予算特別委員会を開催し、付託された予算議案のうち、7年度補正予算議案6件について審査を行いました。提案説明の後、質疑を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。



24人が一般質問

5日、6日、9日の3日間、24人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。
(質問内容は10〜15頁)



7年度補正予算議案6件を 全員賛成で承認及び可決

10日の本会議では、予算特別委員長が補正予算議案の審査報告を行い、表決の結果、議第1号から議第6号までの6件を全員賛成で承認及び可決しました。
本会議終了後に、予算特別委員会を開催し、8年度予算議案8件について、提案説明の後、

各分科会に分割付託しました。

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

11日に総務、12日に市民文教、13日に厚生、16日に産業建設の各常任委員会を開催しました。常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員分科会として、予算議案の審査を行いました。
(審査内容は8〜9頁)

また、総務及び産業建設常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

請願2件を不採択 予算特別委員会で分科会報告

24日の本会議では、意見書提出を求める請願2件について、各所管の常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第2号及び請願第3号は賛成少数で不採択としました。
本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科委員長が8年度予算議案の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、議第7号から議第9号まで及び議第13号は賛成多数で、議第10号から議第12号まで及び議第14

号は全員賛成で可決しました。

意見書1件を可決 委員長報告の後、討論・表決

議会最終日の25日、議員提出の意見書2件を審議し、議会第1号は表決の結果、全員賛成で可決し、議会第2号は討論の後、表決の結果、賛成少数で否決しました。

次に、予算特別委員長が8年度予算議案の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、議第7号から議第9号まで及び議第13号は賛成多数で、議第10号から議第12号まで及び議第14号は全員賛成で可決しました。

続いて、各常任委員長が条例及び事件議案の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、全て可決しました。

(各議案の審議結果は3〜4頁)
最後に、総務常任委員長が請願第1号の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

人事案件の結果

人権擁護委員候補者

武田 綾子氏(大岩川)

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第1号	令和7年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第2号	令和7年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分の承認について	予算特別	
議第3号	令和7年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第3号）の専決処分の承認について	予算特別	
議第4号	令和7年度鶴岡市一般会計補正予算（第6号）	予算特別	可決 (全員賛成)
議第5号	令和7年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第6号	令和7年度鶴岡市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第7号	令和8年度鶴岡市一般会計予算	予算特別	可決 (賛成多数)
議第8号	令和8年度鶴岡市国民健康保険特別会計予算	予算特別	
議第9号	令和8年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計予算	予算特別	
議第10号	令和8年度鶴岡市介護保険特別会計予算	予算特別	可決 (全員賛成)
議第11号	令和8年度鶴岡市休日夜間診療所特別会計予算	予算特別	
議第12号	令和8年度鶴岡市墓園事業特別会計予算	予算特別	
議第13号	令和8年度鶴岡市病院事業会計予算	予算特別	可決 (賛成多数)
議第14号	令和8年度鶴岡市下水道事業会計予算	予算特別	
議第15号	鶴岡市行政手続条例の一部改正について	総務	
議第16号	鶴岡市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	総務	
議第17号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	総務	可決 (全員賛成)
議第18号	鶴岡市職員定数条例の一部改正について	総務	
議第19号	鶴岡市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	総務	
議第20号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	
議第21号	消防職員が緊急消防援助隊又は山形県消防広域応援隊として出動した際の特殊勤務手当を新たに設けるもの	総務	
議第21号	鶴岡市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	総務	
議第22号 ～議第27号	鶴岡市先端研究産業支援センター設置及び管理条例の一部改正について（ほか5件※）	総務	可決 (賛成多数)
議第28号	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事請負契約の締結について	総務	
議第29号 ～議第34号	財産の取得について（除雪ドーザほか5件）	総務	
議第35号 ・議第36号	建物の無償譲渡について	総務	
	用途廃止した消防ポンプ庫を地元の自治会等に無償譲渡するもの		可決 (全員賛成)
議第37号	鶴岡市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務	
議第38号	宝谷辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第39号	大網・田麦保辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第40号 ～議第46号	鶴岡市斎場設置及び管理条例の一部改正について（ほか6件※）	市民文教	可決 (賛成多数)
議第47号	鶴岡市火災予防条例の一部改正について	市民文教	可決 (全員賛成)
議第48号 ～議第58号	鶴岡市立学校校舎等使用条例の一部改正について（ほか10件※）	市民文教	可決 (賛成多数)
議第59号	鶴岡市地区構造改善センター設置及び管理条例の廃止について	市民文教	可決 (全員賛成)
議第60号 ～議第67号	鶴岡市羽黒コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正について（ほか7件※）	市民文教	可決 (賛成多数)
議第68号 ・議第69号	鶴岡市総合保健福祉センター設置及び管理条例の一部改正について（ほか1件※）	厚生	
議第70号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について	厚生	
議第71号	鶴岡市立荘内病院医療従事者修学資金貸与と条例の制定について	厚生	可決 (全員賛成)
	荘内病院の医療従事者確保のために、同病院に医療従事者として勤務する意思のある学生に、修学資金を貸与する制度を創設するもの		

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第72号 ～議第75号	鶴岡市病院事業使用料及び手数料条例の一部改正について（ほか3件※）	厚生	可決 (賛成多数)
議第76号	鶴岡市湯之里公衆浴場設置及び管理条例の一部改正について※	厚生	可決 (全員賛成)
議第77号	鶴岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について 農業委員等が、農地利用の最適化に関する活動を実施した場合に、実績に応じて報酬を支給するもの	産業建設	
議第78号	鶴岡市火入れに関する条例の一部改正について	産業建設	可決 (賛成多数)
議第79号 ～議第82号	鶴岡市漁港管理条例の一部改正について（ほか3件※）	産業建設	
議第83号	鶴岡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	産業建設	可決 (全員賛成)
議第84号	鶴岡市都市公園条例の一部改正について※	産業建設	可決 (賛成多数)
議第85号	鶴岡市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	産業建設	可決 (全員賛成)
議第86号	鶴岡市公共下水道条例の一部改正について	産業建設	
議第87号	鶴岡市集落排水処理施設条例の一部改正について	産業建設	可決 (賛成多数)
議第88号 ～議第97号	鶴岡市藤島エコタウンセンター設置及び管理条例の一部改正について（ほか9件※）	産業建設	
議第98号	字の区域及び名称の変更について	省略	可決 (全員賛成)
議第99号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	同意 (全員賛成)

※昨今の賃金上昇や物価高騰等の影響により、施設の維持管理経費が増大している。この状況を踏まえ、安定した施設運営の維持と適正な受益者負担の観点から、全庁的に公共施設等の使用料等の見直しを行うとの方針に基づき、関係各条例において、所要の改正をするもの。なお、使用料等の改定対象となった施設等は次のとおり。

- ・先端研究産業支援センター
- ・ケーブルテレビジョン
- ・自然学習交流館ほとりあ
- ・鶴岡アートフォーラム
- ・各体育施設
- ・藤島運動広場
- ・手向地区ふるさとセンター
- ・櫛引生涯学習センター
- ・ゆうあいプラザかたぐるま
- ・高齢者活動センター
- ・庄内産業振興センター
- ・櫛引総合運動公園野外ステージ・イベント広場
- ・創造の森交流館
- ・月山あさひ博物村文化創造館
- ・出羽庄内国際村
- ・櫛引情報センター
- ・ごみ焼却施設つるおかエコファイア
- ・文化会館
- ・学校屋外運動場照明施設
- ・中央公民館
- ・羽黒勤労者研修センター
- ・温海ふれあいセンター
- ・荘内病院
- ・健康の里ふっくら
- ・勤労者会館
- ・藤島エコタウンセンター
- ・ほのかたらのきだい
- ・タキタロウ館
- ・市営バス
- ・斎場
- ・リサイクルプラザくるりん館
- ・藤沢周平記念館
- ・藤島農村環境改善センター
- ・東田川文化記念館
- ・旧遠藤家住宅
- ・温海温泉林業センター
- ・湯田川温泉リハビリテーション病院
- ・湯之里公衆浴場
- ・マリカ駐車場
- ・いでは文化記念館
- ・櫛引たらのきだいスキー場
- ・湯殿山スキー場
- ・黒川能の里王祇会館
- ・コミュニティセンター等
- ・市立学校体育館・校舎等
- ・史跡松ヶ岡開墾場
- ・羽黒農村環境改善センター
- ・羽黒コミュニティセンター
- ・大鳥自然の家
- ・総合保健福祉センターにこふる
- ・藤島ふれあいセンター
- ・漁港
- ・赤川市民ゴルフ場
- ・羽黒山スキー場
- ・産直あさひ・グー

各施設等の変更内容については、市ホームページをご確認ください。



▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第1号	国会及び政府に非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第2号	武器輸出三原則の堅持及び武器輸出の絶対禁止を求める意見書の提出について	省略	否決 (賛成少数)

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第1号	鶴岡市長選挙における市職員の選挙関与に関する第三者による調査委員会の設置を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第2号	早急な普天間基地の危険除去実現のために辺野古移設の中止を求める意見書の提出に関する請願	総務	
請願第3号	食糧法の見直し中止と国の責任による主食の安定供給を求める意見書提出に関する請願	産業建設	

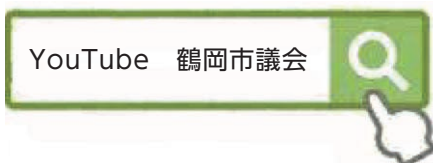
総括質問

市長提出議案に対して、各会派を代表して6人の議員が質問しました。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。
なお、本原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

予算編成における課題整理と施策の優先度は

創政クラブ ^{さとう} 佐藤 ^{まさや} 昌哉 議員



議員 財政健全化が求められる中で、財政課題と事業課題をどのように整理するのか。

市長 予算編成に当たり、これまでは、将来の財政負担や財政規律はあまり考慮されず、事業の廃止や見直しが進んでいなかったと捉えている。歳出超過である現状を改善し、基金の取崩しに依存しない財政基盤を構築することが重要であり、中長期的な視点を持って、後年度に過度な負担を残さないことを心掛けていく。

議員 総合計画後期基本計画の推進に伴う施策と、市長公約の施策の優先度の整理は。

市長 公約は優先的に取り組むべきものと認識している。総合計画後期基本計画の推進とともに、公約である0歳から2歳までの保育料無償化等、子育て支援の拡充は優先度の高い施策として着手するなど、新生つるおか活力創造予算として編成した。

ほかの質問

行財政改革、地域コミュニティの推進と子育て支援、教育行政 など

新市長による次期総合計画の策定は

創政クラブ ^{ほんま} 本間 ^{しんべえ} 新兵衛 議員



議員 現在の第2次総合計画は前市長の下で策定されたものだが、新市長による第3次総合計画策定に向けた考え方は。

市長 令和8年度を策定の準備期間とし、9年度から本格的な検討に入る。人口減少を正面から受け止め、人口減少下でも暮らしの利便性や満足度を低下させず、地域社会や産業の活力が持続・発展する方向性を盛り込む必要があると認識している。また、AI、デジタルを活用した行政サービスの高度化の取組や、魅力ある職場づくり、地域づくり等、若者や女性に選ばれる環境整備が重要となる。これらを推進するためにも、財政の健全化を進め、新たな価値と活力の創造に取り組みとともに、市民一人ひとりが生き生きと活躍できるまちづくり、産業競争力の強化など、鶴岡を元気にする施策の方向性を盛り込んだ第3次総合計画を策定していく。

ほかの質問

行政の課題、自主財源の拡充、商工観光業の振興、高齢者福祉 など

公共施設の使用料等を引上げ 市民負担増は

日本共産党鶴岡市議団 **菅井 巖** 議員



議員 物価高騰が続く中、公共施設の使用料等の見直し提案され、市営バスやコミセン、体育・文化施設、病院の差額室料等、あらゆる分野に影響が及ぶ。公益性を重視し、市民負担を増やすことは控えるべきと考えるが、判断理由と増収の見込みは。

市長 光熱費や物価の高騰、人件費上昇等の委託料への反映などの影響で、2年度と6年度の決算比較による増加率が平均約30%であることを考慮し、受益者負担適正化の観点から、使用料等に反映させた。急激な市民負担の上昇を抑えるため、増加率が30%を超える施設も30%を上限として見直し、条例改正から新料金適用まで6か月間の周知期間を設ける。155件の施設等で見直しを行い、対7年度で公共施設等では3,900万円、ごみ処理手数料では1,900万円、病院事業では660万円の増収を見込んでいる。

ほかの質問

男女共同参画計画の推進、政策顧問の設置、公共施設整備 など

好機を生かした持続的な観光施策は

希望のつどい **佐藤 麻里** 議員



議員 各種観光キャンペーン等により、本市が大きく注目される機会を迎えているが、リピーターの確保や滞在時間の延長につながる取組をどう進めるのか。

市長 DEGAMによるアンケート調査の回答者に、季節の見どころ、旬の食材、物産情報やふるさと納税返礼品をPRするなど、鶴岡のファンづくりを重点を置いた活動を行っている。また、市内複数の観光地の周遊と温泉地での宿泊をセットにしたモデルコースを推奨している。**議員** 観光客の利便性向上や回遊性確保のため、観光二次交通の整備や支援をどう進めるか。

市長 日本語と英語に対応する事前決済可能なデジタル予約システムの導入と、鶴岡駅から出羽三山、松ヶ岡間を送迎する観光交通の実施に係る経費を8年度予算案に計上している。行きたいところに必ず行ける受入れ体制の整備に努めていく。

ほかの質問

財政運営と自主財源の確保、物価高騰対策と市民生活支援 など

物価高騰対策として水道料金減免の妥当性は

市民と歩む会 **田中 宏** 議員



議員 物価高騰対策として水道基本料金減免を選択した理由と、政策としての妥当性は。

市長 水道は市内のほぼ全域に普及し、市民・事業者を広く支援できる。一般家庭等の小口径メーター使用者の料金は6か月減免し、手厚く支援する。事務経費が生活応援商品券では発行額の約9%だが、水道料金減免は効果額の約2%であり、合理的で妥当と判断した。効果額は約4億2,000万円を見込む。**議員** 4月開始の庄内広域水道企業団の経営や料金への影響は。また、今後の減免実施の基準は。

市長 減免による収益減少分と事務経費は市が全額補填するため、企業団の財政計画に影響せず、将来の料金値上げの要因にもならない。「安全・安心な水道水の安定供給」という理念にも支障はない。今後、国の追加交付金がある場合、企業団とも十分協議して対応を判断する。

ほかの質問

令和8年度当初予算における市政の変化と基本姿勢 など

5歳児健康診査を入り口とした継続的支援は

鶴岡市議会公明党 おおの **大野** せいいち **誠一** 議員



議員 5歳児健診を入り口として、その後の就学支援、教育支援へどう円滑につなげるのか。福祉と教育の連携強化について、5歳児健診からの切れ目のない支援体制構築の考えは。

市長 5歳児健診では、身体・精神・言語等の発達確認のほか、必要に応じて、心理相談、子育て相談、栄養相談など、保護者の困り感に対応できる体制を整えている。健診後の相談支援の場としてフォローアップ相談会を実施し、保育園等での個別支援のほか、児童発達支援や療育センター等での療育につなげていくこととしており、発達特性のある子どもに適切な支援ができるよう準備を進めている。健診の結果等については、スムーズな就学につながるよう、保健、福祉、教育等の庁内関係部署及び関係機関が共有し、子どもの特性に合わせた適切な支援を連携して行っていく。

ほかの質問

なし

3月定例会のポイント

公共施設使用料等の見直し 賛否が分かれる

3月定例会には、公共施設の使用料等の見直しに関する条例改正の議案が多数提案され、多くを賛成多数で可決しました。受益者負担や公共施設の在り方等の観点から賛否が分かれ、本会議では、多くの議員が討論を行いました。以下、その概要をお知らせします。

【使用料等の見直しの基本的な考え方】

1 維持管理経費の増加を反映させた使用料の算定

令和2年度と6年度の決算の比較による経費の増加率を反映。ただし、急激な負担上昇を抑えるため、特別な事情があるものを除き、30%の増を上限とする。

2 多くの施設が採用している午前・午後・夜間の使用区分から時間単価制に移行

使用時間が短い場合は、現行よりも使用料が減額になる場合がある。

3 令和8年10月1日からの改定を基本とし、6か月の周知期間を設ける。



賛成討論の概要

- ・賃金上昇や物価高騰、施設の老朽化により、公共施設の維持管理経費が増大している中、現行料金を維持していくことは、将来的な行政サービスの低下につながりかねない。
- ・公費投入とのバランスを考え、施設等の利用者にも一定の負担をしてもらうことで公平性を確保することは重要である。
- ・時間単価制の導入による実質的な負担減や、急激な負担上昇を抑える緩和措置、既存の減免制度の継続など、市民への影響は抑えられている。

反対討論の概要

- ・物価高騰で市民生活が困窮する中、公共施設という地域の基盤を値上げすれば、所得による活動格差が生まれ、地域活力が低下する。
- ・市民や利用者への丁寧な説明や意見聴取がないまま議決を先行させており、手続きに欠陥がある。また、施設ごとの具体的な影響調査などの判断材料も不足している。
- ・公共施設は、豊かな社会を維持するための共有財産である。受益者負担の論理で安易に市民に負担を転嫁すると、市民活動が停滞する。

委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。
審査の主なものを掲載します。

総務

新産業の創出に向けた取組は

委員 地方大学・地域産業創生事業の今後の見通しは。

政策企画課長 事業に採択された「鶴岡ガストロノミックイノベーション計画」は、山形大学と慶應義塾大学の連携強化による若者に魅力のある大学づくりと研究拠点から生まれる革新的な新食材や技術の活用による新産業の創出を主たる目的としている。令和7年度は拠点立ち上げの準備期間であったが、8年度は本格的な共同研究等に着手する。山形大学に設置された研究所には、両大学から20人以上の研究者が参画し、全国の食関連企業とも連携しながら新食材や技術の開発を行っていく。国の交付金事業であるため、産業振興の成果が認められるよう、力強く推進していく。

出羽庄内国際村の環境整備は

委員 同施設のリニューアルに伴う8年度予算の事業内容は。

食文化創造都市推進課長 6月のリニューアルに合わせて、国の補助

金を活用してホームページを刷新するほか、イベントでは従来のワールドバザールや音楽祭等の内容拡充を予定している。また、外国人の生活相談窓口には、プライバシーに配慮した相談スペースを設置し、インターネットを活用した相談にも対応可能な環境を整える予定である。今後も外国人住民が安心して暮らせるように、やさしい日本語教室の開催など、多言語対応の充実を継続していく。

金を活用してホームページを刷新するほか、イベントでは従来のワールドバザールや音楽祭等の内容拡充を予定している。また、外国人の生活相談窓口には、プライバシーに配慮した相談スペースを設置し、インターネットを活用した相談にも対応可能な環境を整える予定である。今後も外国人住民が安心して暮らせるように、やさしい日本語教室の開催など、多言語対応の充実を継続していく。



リニューアル工事が進む
出羽庄内国際村

市民文教

コミセン使用料改定の事前調整は

委員 使用料改定に当たり、各自治振興会等と調整は行ったのか。

コミュニケーション推進課長 自治振興会等からの意見聴取を行ってきた。そもそも、コミセンは無料で使え

る施設であり、今回の使用料改定は、企業等が使用する場合の目的外使用が対象であるため、特段の意見はなく了承されている。また、清掃や安全点検などの運用実態に即した開館時間等の変更についても了承を得ている。

新図書館事業の今後の展開は

委員 7年度予算に計上されていた図書館本館整備事業費の約2,500万円が皆減となっているが、今後の方向性は。

図書館長 新図書館整備事業は、一旦立ち止まって再整理を行う方針であり、事業再開までの期間は、新図書館整備基本構想やこれまでの経過を踏まえ、ソフト事業を充実させていく予定である。そのため、8年度予算には、運営アドバイザーの報償費や職員研修費のほか、来館促進イベントの費用を計上している。

災害放送配信システム導入予算額の妥当性は

委員 防災行政無線放送をスマホアプリに配信するシステムを導入することだが、約400万円を導入している自治体があるのに対し、本市の予算額が990万円と高額になっている要因は。

防災安全課長 8年度は導入初年度であるため、機器購入費のほか、機器の設置や初期設定を一括して行うことによる一時的な経費も、併せて計上していることによるものである。なお、9年度以降はランニングコストのみとなるため、事業経費は低減する見込みである。



厚生

民生児童委員の確保策は

委員 なり手不足が深刻な状況であるが、解消に向けた取組は。

福祉課長 退職年齢が引き上げられている社会情勢の中、勤務しながら民生児童委員活動を行うのは難しいという声があることは把握している。7年度からは、民生児童委員サポーター制度を実施しており、地域の方から委員のサポートをしてもらい、活動内容を理解していただくことで、将来的な担い手の確保につながる仕組みづくりに努めている。

こども誰でも通園制度の状況は

委員 7年度の利用実績と今後の実施施設拡大の見通しは。

子育て推進課長 8年1月から民田保育園と上郷保育園で実施しており、数名の利用実績がある。8年度はこの2園に加え、三瀬保育園、城南幼保園、かたばみ保育園、西部保育園、南部保育園の5園で実施する予定である。



荘内病院の8年度予算編成は

委員 赤字予算の編成となっているが、問題はないのか。また、経営改善支援業務をコンサルタントに委託することだが、黒字化の見通しは。

荘内病院総務課長 減価償却費等の非現金支出費用等が要因となり収支において赤字が生じる予算編成は、地方公営企業法に基づく会計制度で認められている。予算上の不足額は、経営改善事業債及び前年度からの繰越金等を用いながら、均衡を図っていく。あわせて

コンサルタント会社からは、診療報酬改定への対応や、診療科別の患者動向・原価分析等を通じた短期的な収益改善策の検討のほか、病床機能や人員配置の見直し等を支援してもらい、中長期的な経営改善を進めていく。

荘内病院での医療従事者確保策は

委員 荘内病院医療従事者修学資金貸与制度を利用する際の保証人の審査方法は。また、医師を除く医療従事者を対象としているが、想定している職種と人数は。

荘内病院総務課長 この制度は、荘内病院に医療従事者として勤務しようとする学生に修学資金を貸与し、所定の期間を荘内病院で勤務した場合に、貸与した資金の返還を全額免除するものである。保証人審査を外部機関に依頼する予定はなく、院内で行う。また、薬剤師の確保が厳しい状況となっているため、募集する職種と人数は、薬剤師を2人程度と想定している。

産業建設

鳥獣被害対策への補助は

委員 野生鳥獣市街地等出没対策

事業補助金の具体的な内容は。

農山漁村振興課工務主査 この補助金は、「不要果樹の伐採」と「緩衝帯整備」の2つの事業があり、不要果樹の伐採費用は約470万円を、緩衝帯の整備については1か所あたり15万円の定額補助で2か所分の合計30万円を計上している。なお、緩衝帯整備の候補地については、地元から相談を受けているエリアはあるものの現時点では未定である。

開発公社保有地の管理費用は

委員 工業団地分譲の長期化に伴う、開発公社保有地の管理費用負担の在り方と今後の対応は。

商工課長 鶴岡大山工業団地の整備に関し、市が鶴岡市開発公社へ用地取得や分譲等の業務を委任した平成7年当初は、早期売却による収益で管理費や借入金の利息を賄う計画であった。しかし、着手から30年が経過した現在も、未分譲地が残っており、利息や除草費用といった維持管理費が累積している状況である。費用負担の在り方については、市の依頼に基づく事業であることから、本来市が負担すべき経費であり、予算計上したものである。今後は、未分譲地の早期完売による費用回収を急ぐ

とともに、管理経費の増大を抑制し、工業団地の適正な運営に努めていく。

観光客の移動手段の確保策は

委員 観光二次交通対策として、予約・配車システムの導入補助金が予算計上されているが、事業内容は。

観光物産課長 この事業は、日本語及び英語に対応し、スマホ等から日時や目的地を事前に選択できるデジタル予約システムの導入を補助するものである。利用者は、確実にスムーズに移動することができ、交通事業者は、予約人数に応じて車種を切り替えて、効率的に対応することができる。鶴岡駅を起点に、羽黒山、湯殿山、月山、松ヶ岡などの主要な観光地を運行ルートとし、利用者の希望する時間に合わせて往復の移動を支援するものである。8年度は、観光客の増加が見込まれるため、誰もが行きたい時に行きたい場所へ移動できる体制を確立していく。



スポーツ施設における 使用料見直しの前に

いがらし 五十嵐
かずあき 一明 議員



議員 櫛引スポーツセンターでは、雨漏りによる天井の崩落が発生していたほか、故障したトレーニング器具が放置されていた。利用者の安全確保は、使用料見直しの議論に先行して最優先に取り組む課題と考えるが、具体的な方針は。
教育部長 雨漏りについては応急処置を行っており、今後、屋根上からの調査を行い、適切に修繕する。また、トレーニングルームにある故障したランニングマシンは、古くて修理できないため、撤去して更新を検討する。なお、設置している器具は、業者による定期点検を適切に実施しており、引き続き安全管理に努めていく。

ほかの質問

市の観光戦略、赤川かわまちづくり計画におけるグラウンド使用

もったいない市有資産 経営視点で活用へ

いしい きよのり
石井 清則 議員



議員 市が所有する土地や建物のうち未使用や低稼働のものは、維持管理費等がもったいなく感じる。経営視点を持った資産活用が必要では。
総務部長 将来的な財政負担を軽減する観点から、売却や貸付けによる活用を進めていく。今後は、資産を生かし収益を上げるという視点を持ち、庁内で情報共有を図り、活用に努めたい。
議員 市民や事業者から提案を受け、資産活用していくための、資産公開や制度設計の考えは。
総務部長 公共施設等の基礎的な情報を示すことは必要と考える。制度設計については、手法などの研究・検討を進める必要がある。

ほかの質問

出羽三山に関する財団法人の設立、食料品消費税ゼロによる農業への影響

中山間地域の未来構想は

わたなべ ともや
渡部 智也 議員



議員 中山間地域の過疎対策を引き続き重要な施策と位置付け、地域主体の取組への補助・助成を積極的・継続的に行っていく考えはあるか。
企画部長 地域課題の解決や地域資源を生かした地域づくりの支援策として、集落支援員等の配置などの人的支援、住民自治組織への財政的支援を行っている。住民主体による地域運営や課題解決は重要と考えており、多面的支援を継続的に行っていきたい。
議員 朝日地域の自然資源をどう活用するのか。
企画部長 豊かな自然環境を活用した事業の実施などで、地域活性化を図っていきたい。

ほかの質問

公用車更新時の環境配慮と財政負担の考え方、地域医療・高齢者移動支援の再構築

5歳児健康診査後の 支援体制は

せいの やすこ
清野 康子 議員



議員 5歳児健診で特性に気づき、適切な支援や療育につなぐことができれば、多くの子どもたちは通常教室でも学べるようになり、健診を導入した自治体では、不登校が減ったという研究が報告されている。本市の支援体制は。
健康福祉部長 保健・医療・福祉・教育分野の関係部署が連携した支援体制を整備している。特別な支援が必要な場合、安心して小学校生活を迎えられるよう、結果を教育委員会と情報共有し、連携しながら就学につなげていく。さらに、療育が必要な場合は、療育センターや児童発達支援につなげるなどの支援を行っていく。

ほかの質問

生成AIの活用、つるおか健康ポイント



シルク製品を身に着け 華やかな本会議

鶴岡市議会では、サムライゆかりのシルクの認知度向上と本市シルク産業の振興を目的として、昨年引き続き「シルク議会」を開催しました。3月3日の本会議には、議長や市長をはじめ出席者全員が鶴岡産シルク製品を着用して臨みました。

6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11	12	13
14	15	16 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	17	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	20
21	22 本会議 (一般質問)	23 総務 常任委員会	24 市民文教 常任委員会	25 厚生 常任委員会	26 産業建設 常任委員会	27
28	29 常任委員会 予備日	30	7/1 議会運営委員会	2 予算特別委員会	3 本会議 (表決・閉会)	4
5	6	7	請願・陳情 提出期限 6月9日(火)午後1時			

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴して みませんか

どなたでも傍聴できます

◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。

本所4階ロビーで傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は64人です。

◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。

本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は5人〜20人程度です。

※本会議又は委員会を団体で傍聴する場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビー等のテレビ

モニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画配信を視聴できます。

編集後記

2回目の「シルク議会」を開催した今定例会。議場内の全員が鶴岡産シルク製品を身にまとい、「シルクのまち鶴岡」を市内外へ発信しました。開催に当たりご協力いただいた鶴岡シルク株式会社、鶴岡中央高校、鶴岡工業高校、致道館高校の皆様にご心より感謝申し上げます。3月定例会は、新年度予算を審議する予算議会でもありました。議場はシルクの装飾で華やいだ一方で、終始慎重な議論が行われました。議会だよりと合わせてYouTube配信も是非ご覧ください。

シルク議会を通じて、「シルクのまち鶴岡」の魅力とともに、市議会を身近に感じていただければ幸いです。

広報広聴委員会

副委員長 中沢 深雪

議会の会議録を閲覧するには

◆図書館本館、本所及び各庁舎の市民ロビー等において、会議録を閲覧できます。

◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。



会議録

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9番25号
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp